



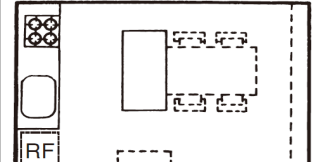
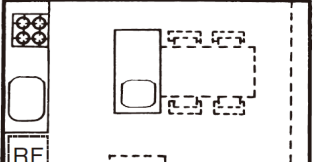
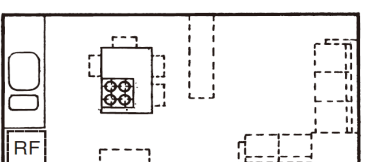
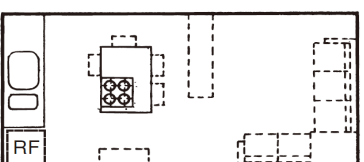
[改訂二版]キッチンスペシャリストハンドブック正誤表

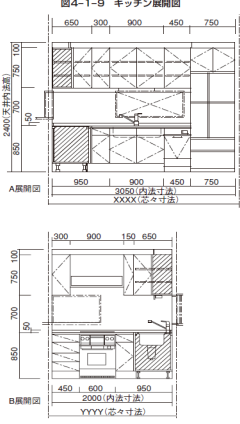
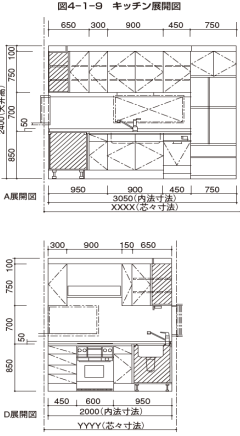
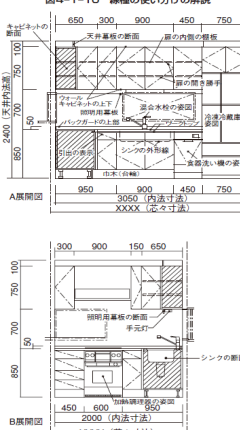
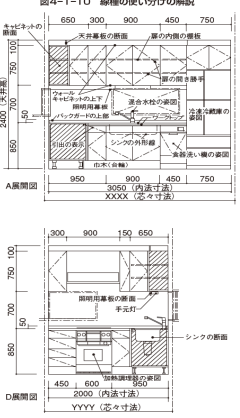
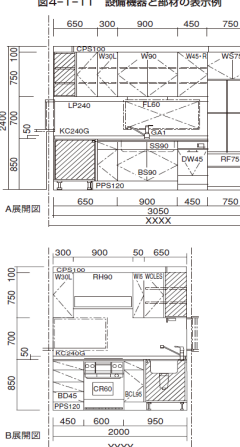
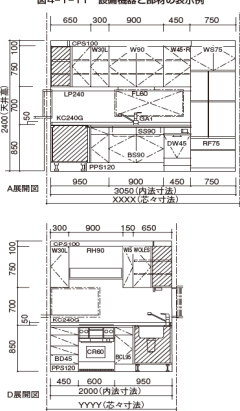
【お詫びと訂正】

この度は[改訂二版]キッチンスペシャリストハンドブックをご購入いただきありがとうございました。
掲載内容につきまして、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正誤表 (2024年9月1日時点)

◇本正誤表の対象となるハンドブック： 改訂二版 4刷(2022.10.1発行)

頁	行・図表番号	誤	正
22	表1-2-2	ウイルス性 ノロウイルス	ウイルス性 ノロウイルス
23	左上から5行目	ノロウイルス予防のためには	ノロウイルス予防のためには
28	表1-2-5	量の油の中で、	多めの油の中で、
71	表2-1-2	 LDK L、D、Kの機能をコンパクトにまとめた	 LDK LDKの機能をコンパクトにまとめた
71	表2-1-2	 LDK LD兼用セットでゆったりと	 LDK LD兼用セット
71	表2-1-2	 LDK カジュアルな雰囲気	 LDK カジュアルな雰囲気
78	右上から4行目	標準偏差をゆとり寸法して加減	標準偏差をゆとり寸法として加減
106	右上から7行目	有効面積当たりの人員は0.16人・日/m ² が 基準となる(空気調和衛生工学便覧第13 版)。	有効面積当たりの人員は0.16人/m ² が基準 となる。
107	左下から10行目	では、汚水を単独し尿浄化槽で処理してか ら雑排水として排水する分流式となる。	では、汚水や雑排水を合併処理浄化槽で 処理した後でなければ、公共用水域に放 流してはならない。
116	左下から16行目	天然木の単層素材(突板)を使用した	天然木の単層素材を使用した
121	左下から7行目	(図2-4-4 ナチュラル1、クラシック1、シッ ク)。	(図2-4-4 ナチュラル1、クラシック1)。
122	左上から20行目	色相(H)は、基本色相としてR(赤)、Y (黄)、G(緑)、B(青)、P(紫)、	色相(H)は、主要色相としてR(赤)、Y (黄)、G(緑)、B(青)、P(紫)、
159	表3-3-3	・風量は多くないが静圧が低く	・風量は多いが静圧が低く
177	右上から13行目	また、燃焼給排気の取り方から、開放型・半 密閉型・密閉型・屋外設置型に分類でき る。	また、屋内外設置方式から、屋内式、屋外 式に区分され、さらに屋内式は給排気方式 によって開放式、半密閉式、密閉式に区分 されている。
177	右下から15行目	①開放型燃焼機器	①開放式燃焼機器
177	右下から8行目	②半密閉型燃焼機器	②半密閉式燃焼機器
177	右下から2行目	③密閉型燃焼機器	③密閉式燃焼機器

頁	行・図表番号	誤	正
190	図4-1-9		 <p>(A展開図の(天井内法高)→(天井高)) (B展開図→D展開図)</p>
190	図4-1-10		 <p>(A展開図の(天井内法高)→(天井高)) (B展開図→D展開図)</p>
191	図4-1-11		 <p>(補足) ・B展開図→D展開図 ・(「注:図中の「CPS100」等は、キッチンメーカーの部材・機器の略称の一例であるが、本書では、機器・部材の品番を①、②、③～のように示す。」をD展開図の下に追記) ・A展開図 ・高さ寸法2400に「(天井高)」を追記 ・幅650→950 ・幅3050に「(内法寸法)」を追記 ・幅XXXXに「(芯々寸法)」を追記 ・D展開図 ・幅50→150 ・幅2000に「(内法寸法)」を追記 ・YYYYに「(芯々寸法)」を追記</p> <p>注:図中の「CPS100」等は、キッチンメーカーの部材・機器の略称の一例であるが、本書では、部材・機器の品番を①、②、③～のように示す。</p>
205	左下から3行目	必要に応じて修正することができる。	必要に応じて修正することができる。

頁	行・図表番号	誤	正
207	右上から2行目	床下や天井上も狭く、	床下や天井懐も狭く、
229	表4-3-3	工事別工程表モデル	工事別全体工程表モデル
230	左上から4行目	効率的に行う事を目的とする。	効率的に行うことを目的とする。
232	左上から5行目	墨出しの基準は、壁に隣接するユニットの 両端を基準とする。	墨出しの基準は、壁に隣接するユニットの 両端となる位置である。
265	左上から11行目	柔軟に対応できる事が求められる。	柔軟に対応できることが求められる。
265	左上から16行目	②長く使い続ける事に	②長く使い続けることに
312	左下から19行目	「給水用具」は「給水装置」から配水管を除 いたもので、	「給水用具」は「給水装置」から給水管を除 いたもので、
352	引用文献	図2-2-13、16、21	図2-2-13、15
352	引用文献	図2-2-17	図2-2-16
354	参考文献		・空気調和・衛生工業学会「空気調和・衛 生工学便覧第14版」 (新規追加)
360	索引	配水管……………168	排水管……………169